

授業概要（シラバス）

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS110	分類	演習科目
授業科目名	情報システム I	英文授業科目名	Hotel Information System I
年度	2020年度	年次	夜間部ホテル科・ブライダル科1年
開講学期	前期・後期	授業の方法	演習
単位数	1単位	年間授業時間数	37.8時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	総計27コマ
担当教員名	添田 沖	備考	

■授業・科目情報

学 習 目 標	学生のPC離れでPCメールの利用が不得手な傾向を鑑み、就活利用を前提としたPCで利用するメールアドレスの取得とその注意点について学ぶ。 近年のネット依存や秩序のない情報発信・情報流出等がなされている現状を踏まえ、情報リテラシー・情報セキュリティの観点を交えた情報の収集から分析、整理、そしてインターネットの基本的な仕組みと、コミュニケーションのルールを習得する。	
教 科 書	「情報リテラシー 入門編」FOM出版	
年 間 授 業 計 画	回数	内 容
	1	オリエンテーション、就活用メールアドレスの取得
	2	PCでのメール利用
	3	情報検索、(情報収集 P1-4)、(インターネットの利用 P5-14)
	4	情報検索(情報の検証 P15-18)
	5	情報検索(情報を運用する P19-21)
	6	情報検索(情報の取扱い P22-29)
	7	情報検索(情報の安全性 P30-42)
	8	数値分析Ⅰ(データの加工 P49-55)
	9	数値分析Ⅰ(データの加工 P56-60)
	10	数値分析ⅡⅠ(2)(データの分析 P43-48)(データの分析 P61-69)
	11	数値分析ⅡⅡ(2)(データの分析 P70-72)
	12	数値分析ⅡⅢ(3)(データの分析 P70-72)
	13	授業の振り返り
	14	前期実技試験
	15	データベース(DBとは？ P73-78)、(データ抽出 P79-87)
	16	データベース(作成実習 P88-92)
	17	ファイル/データ管理(整理 P93-102)
	18	ファイル/データ管理(プロパティ P103-107)
	19	ファイル/データ管理(受け渡し P108-112)、(メンテナンス P113-114)
	20	ネットコミュニケーション(メールの特徴 P118-130)
	21	ネットコミュニケーション(ネチケットやルール P115-125)
	22	情報リテラシーの重要性とSNS①
	23	情報リテラシーの重要性とSNS②
	24	アプリについて
	25	ICTによる情報社会
	26	授業の振り返り
	27	後期筆記試験
授 業 の 進 め 方	テキストのほか、資料やスライド、ブラウザソフトなどを用い、実例を交えながら操作方法や考え方の理解を進める。その他、参加型ケーススタディ(グループ内で話し合い、代表者による発表)を行う。	
試験の実施方法	前期・後期各1回 授業内期間に設定し、形式はPC操作を必要とする実地試験とする。	
成 績 評 価 方 法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%(10ポイント) ②出席率＝50%(10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。	
関 連 科 目	情報システムⅡ(二年次)	
参 考 書		
学生へのメッセージ	PC操作時は、単純な操作演習ではなく「なぜPCで処理するのか」という活用メリットへの理解を促す。 情報リテラシー・情報セキュリティの観点を交えた情報の収集から分析、整理、そしてインターネットの基本的な仕組みと、コミュニケーションのルールを修得して欲しい。文書作成や情報の表現・まとめ方、プレゼンテーション資料作成やプレゼンターとしてのポイント・評価について、社会で求められるスキルが実践的に学べる演習授業です。	

以上